



# 課題研究・実践紹介



全学科共通にある科目であり、専門科目等で学んできた知識と技術を活かして、地域や学校をはじめ、様々な課題に対して自身で研究テーマを決定し、それらの課題解決に向けて1年間を通して行う実践形式の研究科目です。

## 新たな石垣島特産品開発を目指して Euglena の活用と普及活動

アグリフード科



ユーグレナは藻の一種で、石垣島が生産拠点となっている。ユーグレナは加工原材料やサプリメント・バイオ燃料にも応用されているが、馴染みが薄い現状があった。石垣島ユーグレナより「石垣市に貢献したいため、ユーグレナの普及活動として、何か土産品を作れないか？」と相談を受け、新しい商品開発に取り組む以下の実践を達成できた。

(1) ユーグレナサブレの商品開発に成功した。

株式会社ユーグレナと八重山南風堂株式会社の協力を得て、令和6年3月より販売開始。製品検査を八重山南風堂株式会社と協力し賞味期限調査を実施、結果 90 日の賞味を得た。また、商品パッケージを提案し、株式会社 F.T.K 印刷の協力のもと完成させた。

(2) 普及活動

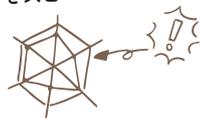
- ・沖縄県優良県産品推進事業へ申請の結果、U-22 特別賞を受賞、
- ・OIST 主催の SCORE 参加、採集選考発表会の 7 校に選出
- ・沖縄県青少年科学作品展佳作受賞



グリーンライフ科

## 演習林の活用

県内最高峰のふもとに演習林を保有しており、本校グリーンライフ科が中心となり下刈りや除伐、枝打ちなど日々管理実習に取り組んでいます。しかし、演習林の面積は469,491㎡と広大で、すべてを管理することは困難なため、先輩方が植樹したリュウキュウマツとテリハボクを中心に保育・更新実習を行っています。そこで、先輩方から受け継いだ演習林を継続して守り活かしたいと考え、主伐材を使用しダイニングテーブルや座卓を作製し、学校行事である農業祭などで販売しています。また、これまで廃棄していた間伐材や除伐材を使用し、粉碎機でチップ状に砕き八重農産シイタケの菌床栽培の材料であるおが粉として活用しています。私たちはこれからも、「自然を守り、自然を活かす」をスローガンに掲げ活動に取り組んでいきます。



フードプロデュース科

## 良い牛育成を目指して



令和4年に開催された全国和牛能力共進会(美しい牛、儲かる牛の改良成果を競う大会)鹿児島大会より、農業高校・農業大学の出品区が設定されました。これを機に、令和5年度より優良繁殖牛の生産、育成に向けて取り組んでいます。令和5年度は八重山郡共進会に出品した飼養牛が2席に入賞し沖縄県共進会へ出品しました。

八重山諸島は県内でも肉用牛頭数が1番多く畜産業がとても盛んな島です。これからも地域と輝く和牛の魅力発信、和牛生産、育成の向上に向けて私たちは活動に取り組んでいきます。



ライフスキル科

## バタフライピーの活用



私たちは、エディブルフラワーであるバタフライピーを活用したオリジナルレシピを考案中です。

バタフライピーとは、マメ科の植物で、ハーブティに飲用されています。真っ青なハーブティは、レモン汁を加えるとPHの変化により、紫色に変化します。また、バタフライピーには、目の疲労を回復したり、血液をサラサラにしたりなど様々な栄養的な価値があります。そこでバタフライピーのさらなる可能性を広げることを目指して、お菓子作りなどのオリジナルレシピの考案・開発に取り組んでいます。まだまだ試行錯誤の連続ですが、頑張っ取り組んでいきます。

